

# ボランティアメイク

ボランティアメイクさんに来ていただくのは2年ぶり。今年も停電の日と重なり、暗闇の中での化粧はどうなるのかと心配でしたが、開始時には電気も復旧し、無事“先取り！夏の爽やかメイク”を堪能することができました。（2年前も停電の日でした）

久しぶりの来院ではありましたが、前回同様とても親切にしてください、患者様・スタッフ共々とても満足できる時間でした。

5月20日、ボランティアのメイクさんたちによる作業療法プログラム「美の探検隊」が行われました。参加した女性患者さんは、プロのメイクさんにより美しく変身し、大変好評でした。



また、患者様も普段と違い表情も明るく鏡をじっくりと覗き込んでいたりモデル気分になりきっている方がいたりメイクの力はすごいなあと改めて感じました。スタッフからも「気持ちよさそう。」「私もやってほしい。」などの意見があがりました。今後もまた定期的に、来院して下さるとのことなので、今から次回が楽しみです。今後は女性だけではなく整容についてなど男性にも参加していただけるようなプログラムが出来るよう相談していく予定になっています。



# ういんぐ =WING=

千葉病院広報紙 2014. 初夏号（第45号） 発行者 医療法人同和会 千葉病院

## あおぞら祭りのご案内

千葉病院初夏のイベント、あおぞら祭りを今年も開催します。初夏の青空のもと、ソーラン節演舞や和太鼓演奏、フラダンス等をお楽しみください。毎年恒例となった千葉病院名物の無料焼きそばやミニゲームもありますよ！

日時：6月14日（土）  
会場：同和会千葉病院 お祭り広場

近隣の皆様には、音楽などでご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください

～ 最善の行動と信頼 ～

## 医療法人 同和会 千葉病院

### 【病院概要】

- 診療科  
精神科・神経科・歯科（要予約）
- 院長  
小松 尚也
- 外来診療時間  
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）  
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）
- 休診日  
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
- 所在地  
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508  
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503  
ホームページ: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp



### 千葉病院 患者様の権利

- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護は保護されます。

発行：医療法人同和会 千葉病院  
発行日：平成26年5月31日  
住所：千葉県船橋市飯山満町2-508  
Tel 047-466-2176 Fax 047-466-7503  
URL: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/

院外報「ういんぐ」初夏号を発行します。東日本大震災では、医療機関の防災体制についても見直しがかねがねと叫ばれるきっかけとなり、当院でも改めて防災体制を確認する機会となりました。今号では、当院の防災体制について現況を報告させていただきました。また、今号からドクターコラムは洪医師の連載になります。御高覧いただければ幸いです。



写真は昨年のおおぞら祭りの様子。



ここでは、千葉病院の活動を紹介するコーナーです。

# 千葉病院の防災対策と活動

3年前の東日本大震災では、地震・津波によってさまざまな施設が大きな被害を受けましたが、それは病院など医療機関でも同様でした。

千葉病院では、震災直後より被災地にスタッフを派遣して医療支援活動を行いました。その被災状況を踏まえ、病院内外での防災対策や防災活動にも、より積極的に取り組むことにいたしました。今回は、そんな防災対策・防災活動の一端をご紹介します。

## 防災について

施設課長・防火管理者 木島功雄

当院では、毎月第一火曜日の午後2時30分から、『防災の日』を設けています。『防災の日』では、年3回、避難訓練を行っています。また、初期消火(消火器・屋内散水栓)訓練や、消防設備の取扱い・災害時の初動訓練等を行っています。万一、災害が発生した場合でも、敏速・的確な行動をとり、人命の保護と被害を最小限にとどめる事ができるよう、訓練を行っています。

右写真:防火訓練の様子



また、年1回、社会福祉法人ワールドナースィングホームで行われる【地域防災訓練】にも参加しています。

【地域防災訓練】では、警察・消防をはじめ周辺町会・自治会等の方々の協力を得て、大規模地震発生を想定した地震発生直後の措置と火災による二次災害に備えた消火・避難誘導・救助訓練を行い、施設利用者の安全確保と地域との連携を深め、防災意識の高揚を図る訓練に参加しています。

左写真:地域防災訓練にて、負傷者救護の訓練

## 院内の防災対策

近年、大地震発生時の大規模災害の対応が社会問題化しています。東日本大震災では、地震で倒壊家屋の下敷きになり圧死することよりも、津波による死傷者のほうが多かった。

千葉病院は海拔24mの高台に建っており、建物の高さを加えれば津波による被害は避けられるものと考えます。また、近隣のマンションから避難場所に利用したいとの要望があり、協力する約束をしております。

病院では火災が最も重要な災害となるため、スプリンクラーの設置や病棟内での裸火(ガス・電熱器等)の使用禁止、屋内散水栓・消火器の設置等のほか、ボイラー・空調・エレベーターの震度5での自動停止など、通常の防火設備

防災委員会 高橋清人



本番さながらの訓練を行い、職員の意識を高めています。

千葉病院Drによる医療コラム 第18回

## 双極性障害(躁うつ病)について その1

千葉病院医師 洪 勝男

双極性障害とは、「気持ちが沈む」「やる気が出ない」といったうつ状態と、気分が病的に高ぶってしまう躁状態を繰り返す病気で、以前は躁うつ病と呼ばれていました。

- ・気分が高ぶりすぎたり、時には怒りっぽくなったりして、普段とは違った様子になる
- ・自分が偉くなったように感じる
- ・色々なアイデアが次々と頭に浮かぶ
- ・注意がそれやすい
- ・普段よりおしゃべりになる
- ・活動性が高まって、ひどくなるとじっとしてられない
- ・買い物への浪費や無意味な投資など、後で困ることが明らかでも自分が楽しいことへ熱中してしまう

これらの症状が続いて、仕事や人間関係に支障が出たり、入院が必要になるほどの状態を躁状態といいます。双極性障害は適切な治療を受けないと、再発しやすく、躁状態の時には上記のような症状が出てしまうので、常識では考えられないような行動をとってしまうことがあります。トラブルを繰り返して人間関係が壊れてしまったり、社会的な損失などを引き起こしてしまうことがあり、本人の失うものが大きい、とてもリスクが高い病気です。また、躁状態からうつ状態に転じた時などは、躁状態の時の自分の行動を思い返して激しく自分を責めてしまうことで、自己破壊的な行動を起こしてしまいやすく、自殺率が高い病気とも言われています。

双極性障害は治療によって気分の波を抑え、安定した生活を送れるようになる病気です。自分や周囲で思い当たることがある方は早めに専門医を受診することをお勧めします。

# 当院から地域へ 地域から当院へ

当院では、地域の障害者活動施設とも連携を密にしています。

なかでも、障がい福祉サービス事業所『こんぼーる』では、月に2回、名物のシフォンケーキや利用者作成のグッズなどを、千葉病院1階ホールで【出張販売】しており、販売日には<待ち>ができるほど、人気を博しております。

『こんぼーる』の販売は、月2回(第2水曜日と第3火曜日)、お屋前になります。

“名物”のシフォンケーキは、販売開始と同時にどんどん売れてしまう人気商品で、購入した患者さんからも美味しいと評判の一品。

また、シフォンケーキ以外にも、利用者さんが作成した手作りのしおりや小物入れなども販売しています。



写真上:名物のシフォンケーキ。いろんな味が揃っています。  
写真左:しおり、小物入れ、カラフル雑巾など。どれも手作り!  
写真中:このカンバンが目印です!